

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		Tsuda-Machi-smileKIDS		公表日		令和8年 4月 1日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		運営基準以上の人員配置を行っています。理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、保育士、児童指導員の資格を持っている職員を配置しております。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		室内や各個室は床シールや壁紙の色など視覚的に分かりやすい環境としています。建物の構造上玄関のみ段差がありますが、必要に応じて階段昇降の補助を行っています。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		毎日の清掃、支援後に物品等の消毒を徹底し清潔な環境に気をつけています。常時、加湿器付き空気清浄器を配置しています。主な活動スペースは一か所ですが、活動に合わせて物品等移動することで環境を整えています。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		発達支援室が3部屋、静養室が1部屋、相談室が1部屋あります。必要に応じて使用することが可能な環境を整えています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。		○		全職員が参画しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		保護者様アンケートを実施しております。次年度に向けての業務改善につなげていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		職員の意見交換の場として、朝のミーティングや毎日の振り返りを行い、保護者様からの相談等も共有しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		今後外部評価を受けることを検討しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		法人内研修を定期的で開催しています。また、専門分野への外部研修、地域支援力アップセミナーにも参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		5領域との関連を示した支援プログラムを作成し、HPに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。		○		契約時アセスメント、年一回アセスメント、定期的なモニタリングの実施、毎日のケース記録を基に支援会議にて課題を整理し、支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		全職員が支援会議に参加し、課題の抽出と計画作成に関わっております。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		職員一同共通理解のもと、支援に取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		標準化されたアセスメントツールを用いて行っています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		相談支援事業所によるサービス等利用計画書、担当者会議、また事業所によるアセスメント（聞き取り）等をもとに、利用者様に必要な項目の選択、利用者様に応じた目標立案し、計画書（支援内容）を作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		専門職（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）を中心に個々に応じた課題設定が提供できるよう、日々のフィードバックや話し合いを職員全員で行っています。	

関係機関や保護者との連携	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		プログラムの固定化を図り、定着を促していくことを目的として行っている当事業所は、一定のプログラムの流れの中で、個別に関わり、個別に応じた課題が行えるよう、常に話し合い検討し、成長に合わせた課題の設定を行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		当事業所は小集団活動を基本に行っておりますが、利用者の発達年齢に応じて個別に課題設定を行い、個別支援計画書を作成、支援を実施しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを行い、事務連絡、支援上の留意点、引継ぎ事項の確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日、フィードバックの時間を設け、情報の共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日のケース記録の記入をしっかりと行い情報の共有と支援の内容の検討を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		モニタリング期間に合わせ、個別支援計画書の見直しを行っています。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が出席しております。必要に応じて児童指導員等も同席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関と連携を行っております。	今後自立支援協議会への参加も行っていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		当事業所の利用者は全て保育所等を併行利用しています。保護者様同意のもと、送迎時に保育所やこども園との情報共有を図り、関係機関連携会議を行っています。また、保育所等の保育教諭による支援見学も随時行っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		例年、入学前に引継ぎシートへの記入をしています。保護者様依頼のもと、見学や情報共有はいつでも可能です。必要に応じて小学校の見学にも同行いたします。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			今後、地域のセンターとの連携を図ってまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			現在積極的に行っていませんが、同法人内にこども園や学童保育がございます。個人情報保護への留意を徹底しながら、今後交流機会が持てればと思っています。また地域の公園での活動機会を増やしていく予定です。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳やコドモンを活用し、事業所からは利用時の様子を文章や写真でお伝えし、保護者様からは家での様子を記入していただいております。また、電話連絡にて直接お伝えすることもございます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ペアレントトレーニング等、保護者向け講習等は行っていません。(今後検討していきます)
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に重要事項説明書を用いて行っています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			適宜、面談等を実施し利用者様、保護者様のニーズ確認を行い、個別支援計画作成時に反映しております。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			児童発達支援管理責任者が直接説明もしくは、お電話でご説明させていただき、同意のもと支援しています。

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		随時行っています。保護者面談についても随時可能です。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		令和7年度は定期的に参観日を行っていました。今後も継続して月に1~2回の参観日に保護者様同士の集まりの場を提供していきたいと考えています。	
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めています。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し、契約時に説明しています。また、法人全体にて第三者委員会を開催しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の活動・行事予定については連絡帳を活用しています。令和7年度は毎月コドモンで写真と一緒に様子をお伝えしていました。今後、インスタグラム、ホームページの充実を図っていきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人名、個人情報に記載されている書類につきましては、鍵付きの書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用者様には絵カードを用いて視覚的に伝わりやすくしています。保護者様には日々の連絡帳や、直接確認すべき事項については速やかに電話連絡を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		拠点事業として、地域に向けたイベントの開催を実施し地域住民の方にも参加していただいております。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの作成を行っています。火災、地震、津波、風水害を想定して年に4回防災避難訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP策定しております。非常災害時を想定して防災訓練を実施しています。また防災意識を高める為、啓発DVD鑑賞や非常用持ち出し袋の確認、備蓄品の確認などを定期的に行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。また、必要に応じて適宜保護者様に確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーの同意書を作成しており、また対応が必要になった時には医師と連携し対応していきます。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画策定しております。全職員への周知を図り、安全計画に準じて適宜研修やマニュアルの確認、安全管理の徹底を図っています。また、送迎車には安全装置を装備しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		避難訓練時は報告書を作成し、保護者様へ配布しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットの事例については毎月会議を開催し事例内容及び支援方法を確認、検討を行い会議録にて職員全員回覧しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内研修として虐待防止の研修を開催し受講しています。また、県主催の研修も毎年受講しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		当事業所ではいかなる場合も身体拘束を行っていません。	